

# 宇智っ子だより

7月号

Tel 0747-22-2515  
平成30年7月5日



## いよいよ1学期のまとめの時期になりました！

梅雨の晴れ間の太陽の光が、一段と強くなり、暑さが厳しくなってきました。1年の半分を過ぎたこの時期から、いよいよ夏本番の始まりです。

子どもたちの登校の様子を見てみますと、分団長を先頭にきちんと並んで元気よく「おはようございます。」と進んで挨拶ができる子が増えてきたと感じています。4月当初と比べると、1年生の児童も間を開けることなく、上手に分団登校ができるようになってきました。大きい学年の児童が、低学年の子どもたちを気遣いながら登校してくる姿を見るにつけ、ほほえましいものを感じます。まだまだ課題はあるにせよ、これらは子どもたちの成長の証の一つです。



後しばらくすると、1学期を終えますが、どの学年も最後のまとめに一生懸命取り組んでいます。真剣に課題に取り組む姿勢にも、日々の努力による成長が感じられます。本校が目指している児童像「よく考え自ら学ぶ子」「思いやりのある子」「根気よくきたえる子」の実現に向けて、これからも教職員一同取り組んで参りたいと考えていますので、今後とも、ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

## 学習参観・講演会・地区懇 ご苦勞様でした！



7月3日(火)に、1学期最後の学習参観及び講演会、地区別懇談会を実施しました。大変お忙しい中、多数ご出席いただきありがとうございました。お子様の成長

を感じる姿を見ていただけたでしょうか。一人一人成長の速度には違いがありますが、着実に力を伸ばせるようにこれからも取り組みますので、ご協力をお願いします。

また、夏休みが近づきましたので、分団ごとに地区別懇談会を実施いたしました。その前に、川松智子さんを講師に迎え、腹話術人形を使っての親子人権講演会を開催しました。人形のドンちゃんとの会話を通して繰り返される楽しいお話の中には、様々な人権のメッセージが込められていました。私たち大人の関わり方等についても、多くのご示唆をいただくことができました。



(講演会の一場面)

## はやぶさ2のミッション

全校朝会で、日本の小惑星探査機「はやぶさ2」の話をしました。「はやぶさ2」は、今から8年前に「イトカワ」という小惑星から物質を持ち帰った、初代「はやぶさ」の2代目です。

「はやぶさ2」は今から3年半前に、地球から打ち上げられ、今回は「リュウグウ」という小惑星から物質を持ち帰り、地球の進化に迫るというミッションを任されています。1年半かけて、惑星の様々な物質を調査し、太陽系誕生の謎に迫る手がかりとなる物質を持ち帰るのは、東京オリンピックが開催される2020年の年末だそうです。まさに壮大なミッションです！

低学年には少し難しいかなとも思いましたが「はやぶさ2」や小惑星「リュウグウ」の写真をスクリーンに映し出すと、どの子どもたちも興味津々でした。「はやぶさ2」のミッション成功を祈って！！



